



いるま

# 市議会だより

平成14年6月  
定例会号 **NO119**  
2002 / 平成14年8月1日発行

編集 議会だより編集委員会 発行 入間市議会 〒358-8511 埼玉県入間市豊岡一丁目16番1号 ☎(042)964-1111



## 飛びかう水しぶきの夢 - さらなる子育て支援を -



PRINTED WITH  
SOY INK



いるま市議会だよりは古紙配合率100%の再生紙と環境にやさしい「大豆インキ」を使用しています

第2回定例会

# 人間市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例など32議案を審議!!

平成14年第2回定例会は、6月4日から20日までの17日間開催され、提出議案32件について審議された。

内容としては、議員提出による条例1件、規則1件、意見書2件、議会人事1件外1件と、市長提出による条例5件、規約1件、専決処分1件、人事案件6件外11件と、請願2件であり、意見書2件については全員一致で可決され、人事案件についてはいずれも同意と決定した。

また、請願については1件が採択、1件が不採択と決定した。

## 議員提出議案

人間市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例

地方自治法の一部改正に伴い、条文の整備をするもので、審議の結果、全員一致で原案可決。

人間市議会会議規則の一部を改正する規則

地方自治法の一部改正に伴い、議員を派遣しようとするときは議会の議決でこれを決定する等議員の派遣の決定について規定するもので、審議の結果、全員一致で原案可決。

地方自治法の一部改正に伴い、条文の整備を行うもので、審議の結果、全員一致で原案可決。

## 【新規条例】

## 条例

人間市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例

土砂等による土地の埋立て、盛土等のたい積行為について必要な規制を行うことにより、市民の良好な生活環境の保全及び災害の防止を図る条例であり、審議の結果、全員一致で原案可決。

## 【一部改正】

人間市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

人事院規則の改正により、人間市職員の「子の看護休暇」を定めるもので、審議の結果、全員一致で原案可決。

小学校就学前までの子（配偶者の子を含む）を養育する職員が、負傷または疾病にかかった子の世話のため必要と認められる場合、1年間に5日の範囲で特別休暇を受けることができる。

人間市火災予防条例の一部を改正する条例

建築物等の可燃性物品からの隔離距離等について、消防法施行令の一部改正に伴って全国的に市町村の条例による統一化を図るもので、審議の

結果、全員一致で原案可決。  
人間市市営住宅条例の一部を改正する条例

公営住宅法施行令の一部改正に伴い、同居親族がいなくても市営住宅に入居することができる者に、ハンセン病療養所入所者等を加えるもので、審議の結果、全員一致で原案可決。

人間市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例

一般廃棄物処理手数料の一部を改正する条例で事業系廃棄物処理手数料を、10kg50円を、10kg150円に改める。審議の結果、全員一致で原案可決。

## 議会を傍聴しましょう

議会は市民の、市民による、市民のためのものです。  
次の定例会は  
9月に開かれる予定です。

## 請願

国民の健康、食品の安全性を確保するため、「食品安全新法制定」と「新行政組織設置」、「食品衛生法抜本改正」を国に求める請願

本請願は、入間市豊岡一丁目4-30キャッスル405、さいたまコープエリア副委員長、二ノ宮小百合氏外4名から提出されたもので、現在、政府や国会等の場で、食品の安全に関する包括的な法律の制定や新しい行政組織設置の検討が行われているが、これらが積極的に促進されることを強く願い、国への意見書の提出を求める請願であり、審議の結果、全員一致で採択と決定。「有事法制3法案」に関する請願

本請願は、入間市狭山台197-1有事法制反対入間地域連絡会代表、曾雌正一氏より提出されたもの。その主旨は、現在国会で審議されている有事法制3法案は、自衛隊や米軍の軍事行動を何よりも優先し、地方自治体や一般市民に戦争への協力を強いるもので、憲法第9条を蹂躪し、地方自治権や国民の基本的権利を踏

みにじるものであることから、徹底審議を求める意見書の提出を求めたもの。

審議の結果、賛成少数で不採択と決定。

## 議員提出議案

### 意見書

本定例会において、議員提出による意見書2件が提出され、全員一致で可決し、関係機関に提出されました。

イオン進出による環境保全を埼玉県に求める意見書

イオン株式会社により入間市上藤沢に「イオン入間ショッピングセンター」建設が進められ、本年3月6日付で埼玉商業振興課に大規模小売店舗届出書が提出された。それに基づく地元説明会が4月25日と29日に行われ、両日で220人もの人たちが参加し、疑問や要求および反対意見が多く出され、説明会は延べ4時間30分に及んだ。

出店予定地付近の人たちの主な不安は、主要幹線である安川道路などの渋滞に加え、休日6千600台、平日4千900台もの自動車の激増による環境破壊である。生活道路への買

い物自動車の進入や路線バス的大幅な時間の遅れなども強く懸念される。また、6千162平方メートルもの24時間営業は、付近および住宅街の風紀を乱すことが懸念され、警備員による取締りでは不可能であり、現状では対策がない。

出店者のイオングループは、さまざまな環境保全・社会貢献活動に積極的に取り組むことを理念にし、ISO14001を全社で取得している。それぞれの地域においてこのような事業活動ならびに環境保全・社会貢献活動を推進していく原点は「店舗」であり、そこを情報発信の基地としている。店舗を拠点とし、地域の人たちとのパートナーシップを大切に、地域社会に貢献することを理念としている。

よって入間市議会は、計画地付近の人たちの環境破壊への大きな不安を解消するため、あらゆる問題点を勘案し、周辺環境整備の対策が講じられるように、可能な限りの改善の指導をすることを強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成14年6月20日

埼玉県入間市議会

国民の健康、食品の安全性を確保するため、「食品安全新法制定」と「新行政組織設置」、「食品衛生法抜本改正」を国に求める意見書

日本でもBSE（いわゆる狂牛病）が発生し、さらに新たに牛肉を始めとする様々な偽装事件の続発により、消費者は食品の安全や表示に大きな不信と不安を抱くとともに、行政や事業者に対して大きな憤りを高めている。近年、食品の安全では、O157、ダイトキシンの、遺伝子組み換え食品などの問題も続発している。さらに、無認可添加物の香料を使用した問題も発覚している。

こうしたなかで、今回のBSE問題からは、生産者にとっても、消費者の健康や安全性を最優先することが、農畜産業の発展につながる事が明らかになった。

現在、政府や国会等の場で、食品の安全に関する包括的な法律の制定や新しい行政組織設置の検討が行われている。

その際には、消費者の健康や食品の安全性を最優先に位置づけることが必要であり、リスクコミュニケーションといわれる「消費者の参加や情報公開」などが制度として確立

されること、食品表示制度を全面的に見直すこと、農場から食卓まで安全性の追跡が可能でシステムを整備することなどが必要である。

よって、国においては、「国民の健康と食品の安全性を確保する」ことを目的とした食品安全新法の制定ならびに新行政組織の設置を進めること、同時に食品衛生法の抜本的改正や運用の強化について実施するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成14年6月20日

埼玉県入間市議会

## 人間CATVで本会議を 全面放映しています

放映チャンネル 11チャンネル

放映時間 議会開催日の午後6時から

次の定例会は9月に開かれる予定です。

# 人事案件

## 固定資産評価審査 委員会委員の 選任に同意

平成14年7月30日で任期満了となる固定資産評価審査委員会委員に吉原欣一氏並びに西久保忠雄氏を引き続き選任したいとの議案が市長から提出され、全員一致で同意と決定した。

吉原 欣一 氏  
入間市扇町屋四丁目1番43号

西久保 忠雄 氏  
入間市大字野田144番地

## 公平委員会委員の 選任に同意

平成14年6月21日で任期満了となる公平委員会委員に引き続き庄菊博氏を選任したいとの議案が市長から提出され、全員一致で同意と決定した。

庄 菊博 氏  
入間市鎌山一丁目9番7号



## 人権擁護委員候補 者の推薦に同意

人権擁護委員候補者を法務大臣に推薦するため、市長から議会に意見を求めたいとの議案が提出され、全員一致で適任者と認め同意と決定した。

金子 喜美子 氏  
入間市豊岡一丁目4番8号

石井 壽一郎 氏  
入間市大字仏子826番地

田村 正子 氏  
入間市高倉四丁目5番35号

## 議員表彰

全国・関東・埼玉県の各市議会議長会定期総会において、各議長会の表彰規定に基づく表彰が行われ、本市議会より次の議員が表彰を受けました。  
在職25年以上

石田 芳夫 議員

横田 敬二 議員  
(埼玉県市議会議長会表彰)

議長、副議長職3年以上

手塚 良雄 議員

## 請負契約の 締結について

入間市立藤沢中学校屋内運動場改築工事(建築工事)請負契約の締結について

工事場所 入間市大字下藤沢 1263番地

1外

契約金額 2億8千35万円  
請負業者 吉沢建設株式会社

履行期限 平成15年2月28日

社

# 常任委員会行政視察報告

閉会中の委員会活動として、行政視察を次のとおり行いましたので、その概要を報告いたします。

## 総務常任委員会

視察日 4月24日～26日  
福岡県北九州市 消防行政(ガスクロマトグラフの導入)について、北九州市IT推進アクションプランについて

福岡県春日市 春日市行政改革について、春日・大野城・那珂川消防組合について

福岡県福岡市 福岡市女性センターについて

北九州市では平成13年、化学救助隊にGC/MS(ガスクロマトグラフと質量分析器の複合機)を導入、化学災害時等における不明物質の検知・分析の一連の作業を現場で可能にした。この装置は、13万スペーストルのライブラリを内蔵、コンピュータによる高度操作が可能となっている。

同市は、消火剤と水の混合消化液を積載した消防ポンプ車を独自に開発、直径25mm、長さ60mのホースを使っており、体力のない人でも容易に操作できる。小型で、狭い道でも入れることから、初期消火と水損防止に効果を上げられると思われ。

北九州市では、「電子自治体」の構築にむけて具体的な

取り組みを明らかにするため  
 ・北九州市IT推進アクションプラン」を策定した。その方針は、「市民のニーズに応じた質の高い行政サービスの提供」、「迅速かつ効率的な行政の実現」、「地域経済の活性化」の3項目を柱として、具体的な施策を進めていくこととしている。

春日市では行政改革に取り組み、事務事業の外部委託を推進している。保育所は公立の7施設中3施設を民間に運営を委託、小学校給食は調理のみ11校中7校を外部に委託

している。

春日市と大野城市（当時は町）は昭和45年6月に消防本部を設置、また、独自に消防行政を進めてきた那珂川町消防本部は、近年の都市化に伴い防災体制の見直し、複雑かつ多様化、広域化する災害への対応が必要となり、平成11年4月に春日大野城消防組合に統合加入した。消防本部は総務課、予防課、警防課、指令課の4課8係からなり、消防署は本署のほか3出張所が置かれ、規模に応じて小隊、救急小隊が配置されている。



北九州市(訓練研修センター)にて

福岡市女性センター「アミカス」は、昭和63年11月に福岡市によって開館され、講座・講演会、交流イベント、情報提供、調査研究、心と生き方アミカス相談室、アミカス図書室などの事業を行い、託児室も設置されている。また、アミカスポランテアによる活動も行われている。



### 建設水道常任委員会

視察日 5月13日、15日

愛知県豊田市 市街化調整区域の公共下水道について、梅坪東・西土地区画整理事業について

愛知県名古屋市中区 自転車利用環境整備基本計画について、山手・四谷通り歩道整備事業について

兵庫県尼崎市 神崎浄水場の高度浄水処理について

豊田市は、面積約290km<sup>2</sup>、人口約35万人の自動車産業を基幹とする内陸工業都市である。下水道整備の特徴は市街化区



名古屋市(山手・四谷通り)にて

域では流域と単独の両方式で対応し、市街化調整区域では特定環境保全公共下水道、農業集落排水施設、コミュニティプラントと多岐にわたっている。全体計画に対する整備率は39・1%、普及率は56・9%と遅れているが下水道の予算は130億円を超え積極的な事業展開を図っている。また、

にじみ出し区域の扱いは個別に対応し、接続をしている。また、名鉄豊田線と三河線が交差する梅坪駅周辺の梅坪東・西土地区画整理事業は、住居系用途を主体とした整備を行っ

ている。鉄道事業者の負担で鉄道高架が別途実施され、まちの動線が確保されていた。昭和60年前後に事業決定され、完了まぢかであり保留地処分も順調に進んでいた。

名古屋市は、面積約330km<sup>2</sup>、人口約217万人の大都市である。自転車利用環境基本計画は、年間4千件を超す自転車事故の発生や、環境負荷の少ないまちづくりのために、自転車を都市交通手段としてとらえ、自転車走行空間の確保を目的としている。具体的には歩行者、自転車の交通量の多い路

者、自転車の交通量の多い路

線をコリドー路線に指定し、歩道の整備を進め、ネットワークを形成する。整備手法は歩道の幅によって、歩行者と自転車を植栽で分離したり、路面表示や啓発板で通行空間の意識付けを行っている。

山手・四谷通り歩道整備事業は、2千290mの歩道整備を平成12年から15年にかけて5億8千600万円で実施するもので、市民・有識者を交えた検討部会を設置し、事業を推進していた。

尼崎市は、阪神都市圏の西部に位置し面積約50km<sup>2</sup>、人口約46万4千人の都市である。尼崎市の水源は全て琵琶湖、淀川に依存し、カビ臭が問題となっていた。臭水が90%を占め、残りを神崎浄水場で賄っている。高度浄水処理はオゾン処理と活性炭処理により、カビ臭、塩素臭を除去し、トリハロメタンを低減する。現場で水道水を試飲したが、ミネラルウォーターとかわらず、おいしい水であった。

### 厚生常任委員会

視察日 5月15日～17日

新潟県上越市 子育て支援事業について

石川県羽咋市 男女が共に輝く21世紀のまちづくり条例について

石川県金沢市 市民芸術村について

上越市は、人口約13万5千人の都市である。平成5年にはすでに高齢化対策と同様に少子化対策についても市の最重要課題として位置付け、少子化問題の解消に向け妊娠、出産、育児、子育て支援、青少年健全育成までのトータルサポート体制を確立させた。中でも父親の育児参加の促進に父子手帳の交付、仕事と育児の両立支援や子育て不安の解消にファミリーヘルプ保育園を開園し、年中無休で、産休明けから緊急時の昼間、夜間、24時間保育を実施。これらを自治体が運営する点や、ファミリーサポートセンター及び助産師会の事務局も入り連携を図るなど相互の支援ネットワークが築かれている。

羽咋市は、約2万6千人の都市である。ここ数年来人口の減少とともに、活力が失われつつある現状から活力があ



り、魅力あるまちづくりの一環として、女性の積極的な社会参加と労働人口の増加を目指す、男女が共に輝く21世紀のまちづくり条例を制定した。条例は性別により差別されたり、ドメスティック・バイオレンスなどの暴力を許さない人権を尊重する社会づくりを特徴としている。金沢市は、北陸の学術、文化、経済の中心都市として発展をつづけている。市民芸術村は、文化の創造を担う若者たちが相集い、新たな市民芸術の創造活動を行い、市民が気軽に演劇・音楽・舞踏・美術活動などの練習・制作・研修及び成果発表の場として利用することにより、市民文化の充実向上と豊かな地域文化の醸成を目的としている。旧紡績会社倉庫群を市民の「記憶の保存」として残すとともに文化・芸術活動の場として再生。年中無休・24時間利用、利用者の経済的負担の軽減を考えた低料金制度を導入し、市民が使い勝手のいいホールを目指している。管理運営は、ディレクター制度を導入し、利用者を代表するディレクター



上越市(こどもセンター)にて

として、民間人を委嘱、自主運営の円滑を図っている。入間市の文化創造アトリエ・アミーゴのモデルであり、村長の言葉「芸術を育てる事が人を育てる」は、運営方法が市民の利用のあり方に大いに役立つものであった。

### 文教経済常任委員会

視察日 5月8日～10日

熊本県熊本市 くまもと子ども輝きプランについて

熊本県水俣市 ごみの分別収集(23種類)について、

学校版ISO14001について

鹿児島県鹿児島市 生涯学習プラザ(サンエールかこしま)について

熊本市は、九州並びに熊本県の中央に位置し、西から北東にかけては山地、丘陵に囲まれ、東は阿蘇外輪山に連なる台地が広がり、南は熊本平野となつて開け、その西端は有明海に接している。くまも





水俣市(環境クリーンセンター)にて

と子ども輝きプランは、国や県の教育改革の動向を踏まえながら、学校週5日制の実施、いじめや不登校等の教育課題に対応するための、熊本市独自の教育改革プログラムである。二〇〇三年度までの3年間で実行するアクションプログラムと今後10年間を見据えて取り組むべき項目をまとめている。理念は、子ども一人ひとりが輝くために、個性を生かしながら、豊かな人間性や創造性を育みますとされている。参考になった点として、大幅な制度変更や経費を伴わ

ず、工夫によって独自のプログラムを立てた点。今取り組むべき課題を、アンケート結果を踏まえて掲げている点、目に見える形で指標を設け、3年間でできることを整理しているの分かりやすい点、小学4年生に対して講師を派遣する点、と多くあった。水俣市は、有機水銀を含む工場廃水によって水俣湾が汚染され、これを原因にした『水俣病』の発生が、昭和30年代以降、市を揺るがす社会問題となった。地域経済は疲弊し、人口は減少。しかし、平成8



年に和解協定が調印され、水俣病は一応の決着をつけた。

近年は、その教訓を生かし

環境モデル都市を目指して、さまざまな環境保全、配慮型の取り組みを進めている。市民の環境意識は非常に高い。ごみの分別(23種類)は、資源化を図るため50〜100世帯に一カ所ずつ、市内300カ所にステーションを設け市民が主体となっている。資源ごみは、センターでストック処理し業者に引き取られる。そして排出量に応じて助成金として地区に分配される。廃プラスチックから悪臭が出ておらず、洗浄の徹底には感心した。

鹿兒島市の生涯学習プラザは、男女共同参画センターとの複合施設であり、市民のさまざまな活動への支援が行われている。IT関連の充実、バリアフリーに努め、環境に配慮して太陽光発電システムも導入していること等が特色である。

年

6月定例会の一般質問は、質問者12名により6月12・13・14日の3日間行われました。

# 一般質問

(質問・答弁内容は、質問者本人が要約したものです。)

## イオン出店問題・扇小学級再編成

塩屋 和雄議員

質問 イオンの出店は多くの問題がある。立地法に基づく地元説明会を含め、住民の意見をどう受け止めるか。グローバル化や規制緩和の下で、弱肉強食の傾向が懸念される。県へ強い内容の意見具申をすべきと思うが。

市長 周辺環境、特に交通問題での懸念が多い。住宅地の中への出店自体おかしと、24時間営業による風紀上の問題も指摘されている。平穩な住環境が乱され、交通渋滞等の問題が心配される。立地法に指針があるが、もっと厳しく対応するようにとの要望が出ている。住民の不安をしっかりと受け止める。体を張ってでも阻止したい位の深刻な気持ち。周辺環境の問題もあるが、我々が築いてきた人間の商業活性化の施策、中心市街地活性化の努力が実りかけつつあるというのに。今の法では、調整はできても阻止は不可能。県への意見書は厳しいものにならざるを得ない。質問者の趣旨を受け止め意見書を、また会社と交渉する。質問 扇小で入学式には五

学級で編成され、記念写真まで撮ったが、新入生の数に誤りがあり、翌日には四学級となった。保護者は怒り心頭。施策として少人数学級制を実施している市もあり、五学級のまま実施することを検討しても良かったのではないかと、必要な予算は、200万円位なので、臨機応変に対応すべきだったのではないかと。

教育長 原則を崩すと他の学校にも及び、予算も必要になるので、四学級にした。



### 元気な人間の構成要素の施策に！

近藤 常雄議員

質問 学校週5日制、歴史的な日韓合同W杯開催、二〇〇四年国体開催予定を契機に市民スポーツ振興、元気な人間実現の施策に、ソフト面、サッカー場、テニス場等市民要望の多い総合運動場の用地確保と今後の建設計画は。

市長 留保地や調整地等市



二本木公民館

民ニーズを考慮し、スポーツ振興審議会の答申後に関係団体と協議する。中央公園等老朽化施設改修後に建設する。

質問 学校週5日制、自由時間の増大等で、ボランティア活動や生涯スポーツの推進、元気な人間づくりに、地域住民が身近に利用できる学校施設を、全校開放すべき。

夜間照明設置の考えは。

教育長 全校開放に努力する。近隣住民の理解と諸問題に配慮し、ニーズの把握に努め、今後の課題とする。

質問 少子化傾向で生徒数の減少、指導する先生の高齢化、実技指導者不足で部活動が廃部傾向のため、複数合同部活動への考えは。

県・全国大会参加は可能か。

土曜日部活動の方向性は。

教育長 移動や生徒指導等問題解決後合同部活動を進める。県は条件付きで認めるが全国大会は認めない。土日曜日の何れか活動できる。

質問 二本木公民館は老朽化と区画整理事業の進展、生涯学習推進や元気な人間づくりのため利用する市民、団体等の増で手狭となり公民館、体育館建設要望の進捗状況は。

市長 公民館、体育館複合施設が適当である。平成15年用地取得、平成17年建設する。

### 市が直接交通状況を把握し意見書を

石田 芳夫議員

質問 イオン人間出店計画は休日1時間当たり1千台も車の増加をピーク時に見込んだが、整備や対策の実施により円滑な交通処理が可能とされている。今でも渋滞があり、周辺住民はこの結論を信じられない。夕方のピーク時に安川通り、花みずき通り、国道463号などの渋滞を人間市はどのように予測するのか。

市長 住民には納得しがたい数値である。交通状況を把握し、会社側の数値を調査し、現状をふまえた意見書にする。

4時頃、池田建材の所で現在も渋滞があり、数倍の車の増



加は頭の痛い問題である。

質問 出店に伴う道路改良費用の内訳とイオンへの負担交渉をどのようにするのか。

市長 久保稲荷線1千400万円、安川道路と国道の交差点改良2千万円を市が負担し、その他の工事費等1億4千300万円を会社負担で交渉する。

質問 住民は地元説明会で環境悪化の心配がさらに深まった。人間市は県に対し、どんな意見書を出すのか。

市長 平穏な生活状況であり、インパクトが強い。形式的なものでは県が対応しづらいので事実状況を踏まえ、具体的に指摘したい。

質問 有事三法案は、米軍支援の自衛隊が武力攻撃を可能とし、地方自治体の戦争協力を責務とするものだ。平和都市宣言をし、基地のある人間市こそ、有事三法案に反対すべきではないか。

市長 曖昧な形での成立は国民の疑問を払拭できない。慎重審議をすべきである。

### 人間川旧西武鉄道橋梁の撤去

神谷 達議員

質問 人間川旧西武鉄道の橋梁は、大変に老朽化しており、危険であるため撤去すべきであると考えますが。

市長 可能な限り早い時期に撤去する。

質問 道路反射鏡の設置基準を緩和して、私道と市道が交差している場所においても、道路反射鏡が設置できるようにできないか。

市民部長 道路反射鏡の設置については、従来通り市道と市道の交差する場所を中心に行なっていくが、公共性の高い私道に関する設置については、今後調査検討していく。



人間川旧西武鉄道橋梁



質問 道路反射鏡の冬期防曇対策として、良好な視認性を確保できる製品が開発されているが採用する考えはあるか。

市民部長 現在のところこの製品を採用する考えはない。

質問 道路反射鏡設置基準では、申請する事ができる者は、区長又は自治会長とするところがあるが、議員が申請する場合でも、所要の手続きがなされていけば、受け付けをするべきであると考えるが。

市民部長 従来通り、区長又は自治会長の申請の方法で対応していく。

### 保育行政と介護保険 見直しについて

宮岡 幸江議員

質問 (1)現在の学童保育室入室基準では、児童の母親の出産・病気、家庭の災害等では入室できない。基準の見直しを。(2)学童保育を必要とする児童には、学年の制限をすることなく在籍学年の引き上げを。(3)安全を高める為に学童保育室に、再任用職員又は、60歳前後の人材の採用を。

福祉部長 (1)社会的変化があれば見直したい。(2)資格要件に合う希望者がいれば、配置する。



質問 女性中心で行われている保育所に、60歳前後の人生経験豊かな人材を採用し、

市長 現場との話し合いで決める。

質問 生涯学習の視点から「元気な人間っ子を育てる地域支援事業」を展開中であるが、目的と内容は。

生涯学習部長 学校区を単位に団体や個人の力を結集し、スポーツや遊びの体験、安全で有意義な活動拠点を育て、地域に根付いた力を借り子ども達の成育を育てていきたい。

質問 介護保険3年目の見直しに向け、要介護認定の訪問調査、未利用者が多い実態等市の考えは。

市長 介護サービスのあり方は、よりよい物を目指し、その費用負担は、それらを見据えながら考えていく。訪問調査は、施設入所のみを職員が行う。利用者や多くの人の意見を反映したサービスの充実をはかっていきたい。

### なぜ「ごみ収集 有料化」なのか

金子 健一議員

質問 市長は3月議会で、家庭ごみの収集有料化検討を打ち出した。その動機は。

市長 「有料化ありき」ではないが、有料化も含めていろいろな議論をしてほしい。市民1人1日100g減量運動を進めてきたが、結果的に昨年度1人1日の排出量は1kgを超えている。有料化した自治体では15〜20%減量している。

質問 全国の有料化した自治体は、いったんごみの量は減るが2〜3年すると増え続けている。実態をご承知か。

市長 たとえ少しでも減れば効果があるのではないか。

質問 市民にペナルティを課すべきでない。ごみ減量に成功しているのは、有料化ではなく資源化に取り組んで自治体だ。有料化したところでは「お金さえ払えば」というモラルの低下で、不法投棄等が増えているのでは。

市長 ないとはいえないが、市民の良識を信じたい。

質問 ドイツを始めヨーロッパでは、包装材などごみとなる製品の製造段階での責任を明らかにし、資源化、リサイクルを企業の責任で行わせているが、日本では有料化で住民に責任を押しつけようとしている。ごみが減らない主要な原因をどう考えるか。

市長 責任のなすり合いをすべきでないが、企業の野放しは改めていただきたい。

質問 資源化のために民間市で努力すべき方向は。

市長 資源化に取り組むのは当然。リーダーの養成、モデル地区の設定、リサイクル品の販売などに努力したい。



リサイクルプラザ内



### 21世紀型情報・ 治安管理社会到来

山下 修子議員

質問 住民基本台帳ネットワークシステムがいよいよ8月5日から稼働する。これは住民票の記載事項である氏名出生年月日・男女の別・住所に11ケタのコード番号をつけ市の電子計算機から通信回線により市民の個人データが全国で送受信されるシステムである。しかしこの事務は「自治事務」であり市民データの権利を守り保護する責任は市に属す。地方分権を推進してきた政府だがこのシステム構築は逆行でとても分権型とはいえない。防衛庁が情報公開請求者リストをもとに身元調査をしていた事実は、昔も今も個人情報には官僚や国に使われ放題の実態を示している。自治省が導入のメリットとしてあげてきた「どこでも住民票がとれるし手続きも簡単」という点にしても、人は一生のうち何枚住民票を必要とするか考えてみるとそれだけのために初期投資・運用と莫大な費用をかける価値はない。市の個人情報保護条例制定の時と状況が大きく変わってきているので特にセキュリティ

に不安を感じるし、(財)地方自治情報センターに対し自治体側がチェックできる保障が今なお見えてこないのが実情だ。

市長 8月5日の稼働を前にテストなどは済んでいる状況にある。このシステムの目的とするところは住民サービスの向上であるので、運用はより慎重でなければならぬと考えている。個人情報保護については今のところ条例の改正は予定していないが今後必要ならば検討したい。

### 交差点等の名称 児童生徒の学齢簿

宮岡 治郎議員

質問 交差点等の名称の表示について、(1)市内全域の交差点等での表示の現状は。(2)仏子駅北口付近の県道の交差点に『ぶし駅入口』の表示はどうか。(3)仏子の『文化創造アトリエ』前の丁字路に『アミーゴ前』の表示はどうか。

市長 (1)国道で18か所、県道で2か所設置済。市負担では、豊岡地区で過去3年で9か所整備。(2)設置に問題は無いが、平仮名にするのはどうか。多くの方々のためには、いい場所ではないかと考えている。(3)名称については、より慎重に対応してゆきたい。



文化創造アトリエ(愛称「アミーゴ」)前の丁字路

質問 児童・生徒の学齢簿について、(1)就学事務の中で学齢簿管理の実状は。(2)学校教育課と市民課との連携は。(3)学齢簿の、台帳からコンビニユーティリティ化はどのようになっているか。

教育長 (1)現在1万4千人以上の児童・生徒の状況を管理している。(2)転入があった場合は、市民課で案内書を出し、電話等で連携を図っている。(3)住民登録を大型コンピュータで管理しており、独自のシステム開発を進めている。

均して新基準値の9分の1の排出になる。達成できるものと確信している。(2)現状では概ね順調に分別されているが、新製品の複合素材で、分別がわからない例も生じている。

### たい肥センターに 向けての実験を

野口 哲次議員

質問 持続可能な循環型社会が求められるなか、生ゴミの資源化が注目されている。

すでに、いくつかの自治体では、生ゴミを分別収集し、たい肥センターで畜ふん等といつしよに発酵させ、良質のたい肥をつくり、それを農家に利用してもらうという理想的なシステムをつくっている。

市内に約1千haの農地を持ち、環境にやさしい狭山茶づくり等、有機農業の推進を目標としている人間市にとっても実現する価値あるシステムだと考える。

ただ、たい肥センターについては、臭い、たい肥の成分、建設費用、ランニングコストなどの問題がある。しかし、はじめからできないと決めつけるのではなく、人間市の実情に即した実現可能な方法を見つけることが必要では。

市長 平成13年から、有機倍運動の一環として農家に協力してもらい、家畜ふんや生ゴミからたい肥をつくる取り組みをしている。今、そのたい肥が供給過剰になっている。たい肥センター立ち上げの実験をする段階ではない。

質問 だからこそ、農家が使えるたい肥つくりの実験を遂行主体、期間を定めて取り組んでほしい。

市長 期間を定めて取り組むのは早計。

質問 昨年、市民法律講座のテーマに「マンション問題」がとり上げられた。市民の関心も高く、マンション管理についての講座を開催しては。

市長 マンション管理は私人的問題、開催する考えはない。

### 教育改革、 市営住宅住環境の秩序

堤 利夫議員

質問 交通バリアフリー法が施行され、県内では熊谷市がはじめて基本構想の策定をしたが、当市も構想の策定をする考えは。

市長 人間市駅を中心にバリアフリーの取り組みをしているところですが、平成15年度に基本構想の策定をする。

質問 幹5号線(会館通り)の歩道改良は急ぐべきである。検討経過は。

市長 扇台土地地区画整理以外の部分について、平成15年度に調査測量し、安心して利用可能な歩道へ改善していく。

質問 自転車利用可の歩道について歩行者等を優先した施策として、歩道を連続するための横断帯の設置を。

市長 現地点検し事故防止のため、注意標識等の対応をする。

質問 学校給食における箸の正しい持ち方や、きつめに苦しい箸の持ち方は半程度でできない。学年が進むにつれ指導により改善がみられる。食





入間市駅周辺のバリアフリー施設

のあり方は学校保健委員会から情報を発信している。

質問 人間性を育くむ教育の実践について。

教育長 豊かな心を育くむ教育を標榜している、市教委は教師の意識改革を目指す。

質問 市営住宅の良好な住環境を保持するため、条例の適確な運用を。

建設部長 迷惑行為等指導に従わない場合、住宅の明渡しを求めるとも検討し厳格に対応する。

### 公共施設の建設から維持管理へ

田中 智義議員

質問 行政はこれまでに数多くの公共施設を建設してきたが、今後施設の老朽化の時

期が必ずやってくる。それに伴い修繕や建替え等必要になり、膨大な財政負担が発生する。施設の長寿化をはかり、将来の財政負担を軽減するため、ストック・マネジメントの手法を取り入れては。

市長 公共施設の様子は、198施設、529棟、特に昭和47年以前のもので271棟あり今後の課題となる。平成10年に公共建築物整備計画プロジェクトチームを庁内につくり計画的に対応しているが、予算の関係から各課の要望に応じきれない。今後、ストック・マネジメントの理念をもとに長期的な計画を検討する。

質問 市街化調整区域の農地は高齢化や後継者問題、相続等により、資材置場への農地転用や耕作放棄地の発生等、農地としての機能を失いつつある。市としての総合的な農業施策が必要と考えるが。

市長 茶業や野菜生産農家への個別の対応はしているが、農業全体として取組みには苦慮している。

### 住環境を守る 対策を要望

#### 対馬 ヨシ江議員

質問 わが国も6月に京都議定書に批准し、地球温暖化防止に向けCO<sub>2</sub>の削減が求められる。国、企業のみならず自治体また家庭での取組が必要となるが対応は。

市長 環境基本計画で定められているように、人間らしい地球温暖化防止の取組みを推進していく。ISO14001の取得を契機に「家庭版ISO」、「学校版ISO」を検討していく。

市長 車の進入が予測される所の路地には警備員を配置するよう会社に申し入れる。

質問 自動車の排ガスは気管支喘息などの病気を引き起こす。自動車排ガス測定を行う必要がある。見解は。

市長 市とイオンの両方で観測したい。

質問 来年4月から障害者の支援費制度が始まる。国の対応の遅れから準備が遅れている。今年の10月から申請と支給量の判定作業が始まる。利用者・家族への説明をどのように進めるのか。

福祉部長 施設利用者は各施設ごとに個別に実施。団体への説明は市町村事務処理要領が示された段階で実施。

質問 支援費は申請時にさかのぼって支給されない。処理期間の長短で障害者の利害が左右される。処理期間は。福祉部長 実際の調査等の時間を踏まえ、他市の状況を参考にし、期間を設定する。



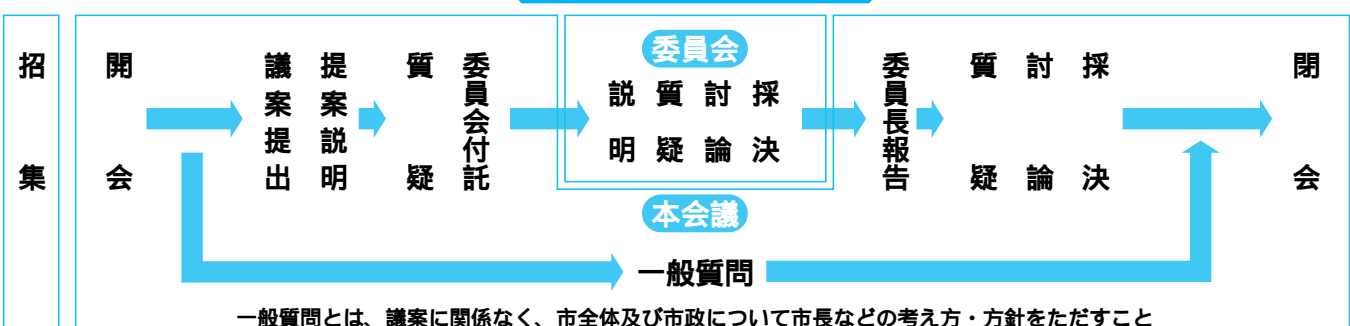
質問 イオン人間出店は交通渋滞、騒音、排ガス問題など切実な問題がある。住民は生活環境の悪化は耐えられないと言っている。緊急車両のスムーズな運行、バスの定時運行の確保は住民の願いだ。この声にどう応えるのか。



市長 深刻に受け止め、住環境が守れるような対策をとろうと思っている。地権者、イオンの協力もお願いし、ヨークマートから花みずき通りに抜ける道路を改良し、緊急車両が通れるようにしたい。

質問 住宅地への進入対策は立て看板だけでは効果がな

### 会議の順序



一般質問とは、議案に関係なく、市全体及び市政について市長などの考え方や方針をたずねること

# 市民



# の 声

## 初めの一步を

### 踏み出そう

野田 鈴木 正蔵(会社役員)



いま、わたしは小学校のPTA役員をやらせていただいている。

そんな関係もあって、先日は入間川の堤防の草刈りの奉仕作業を手伝い、さらに「元気な人間っ子を育てる地域支援事業」のPTA企画を小学校で行い、少しはボランティアっぽいことをしたかな、という一日であった。今まではそういういったことに関わっていかなくて、と思っただけでも最後の一步が踏み出せないでいたのが、正直なところであるから、我ながら大躍進と言えよう。いま、地方分権が言われ、身近なところでは学校週

## 三二情報

### 七都県市合同防災訓練

に向けて

備えあれば、憂いなし。言葉で表すのは簡単ですが、実行となるとなかなか難しいものです。

さて、入間市では、8月25日に24回目の防災訓練が実施されます。今年度は、平成15年9月1日に入間市で行われる予定の七都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市)合同防災訓練を想定して、都市型市街地防災訓練を取り入れた。

なった。

### ふるさと人間

高倉 野崎 正雄(会社員)



私の故郷は四国の高知です。幼少の頃はホテルが飛び交い、小川

では魚採り、友達と野山を駆け回り遊んだ思い出がある。この様な体験からか、住むのは自然豊かな所と思っていた。縁あって、人間に移り住んで十数年、長女も大学生、この地で生まれた次男は中学生と

ます。これは都市型災害を想定し、近隣の自主防災会や関係機関が相互に協力しあい集合型訓練を行うものです。

なお、市議会でも万一に備え、防災計画を作成して対応できるようにしています。

わが国は火山が多く、地震災害等も頻繁に発生しています。万一、入間市で災害が発生したら・・・皆さんの備えは万全ですか。憂いなしとするためにも、ご家族、ご近所の方々とともに防災訓練に参加され、避難方法、消火方法などを確認して、話し合いをされてはいかがでしょうか。

## 編集後記

「市議会だより」第119号をお読みいただいて、市民のみなさんはどんな感想をお持ちでしょうか。

編集委員会では、読みやすく、親しまれる「市議会だより」をつくらうと、昨年度は先進地の視察もおこない、改



## 9月定例会日程案

- 8月30日(金)開会
- 9月4日(水)総括質疑
- 9月5日(木)総括質疑
- 9月6日(金)委員会
- 9月10日(火)一般質問
- 9月11日(水)一般質問
- 9月12日(木)一般質問
- 9月18日(水)閉会

※日程については、変更する場合がありますので、議会事務局へお問い合わせください。

☎九六四一一一一  
内線5112・5113

善の努力を重ねています。そう遠くない時期に、その成果をお届けすることができると思います。市民のみなさんからの、率直なご意見を歓迎いたします。乞うご期待！

## 議会だより編集委員会

- |       |       |
|-------|-------|
| 田中 智義 | 山下 修子 |
| 金子 健一 | 野口 哲次 |
| 金沢実千代 | 宮岡 幸江 |
| 鹿倉 貞二 | 駒井 勲  |
| 高橋 満男 | 友山 信夫 |
| は委員長  | は副委員長 |